

CASBEE® 新築[簡易版]

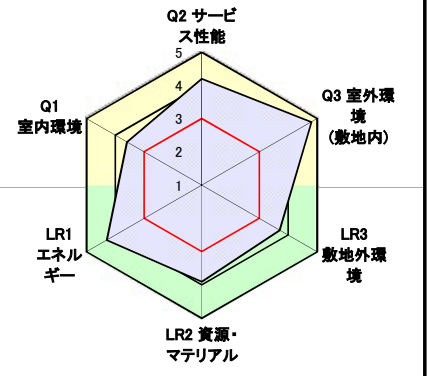
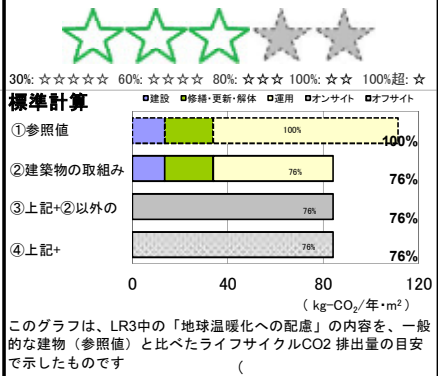
評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

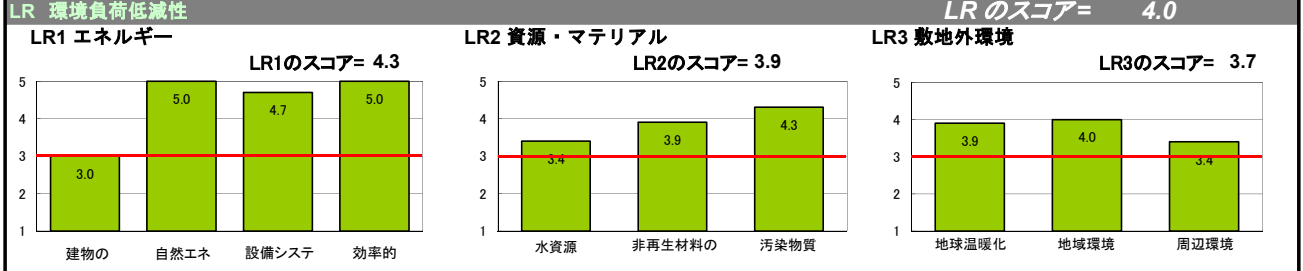
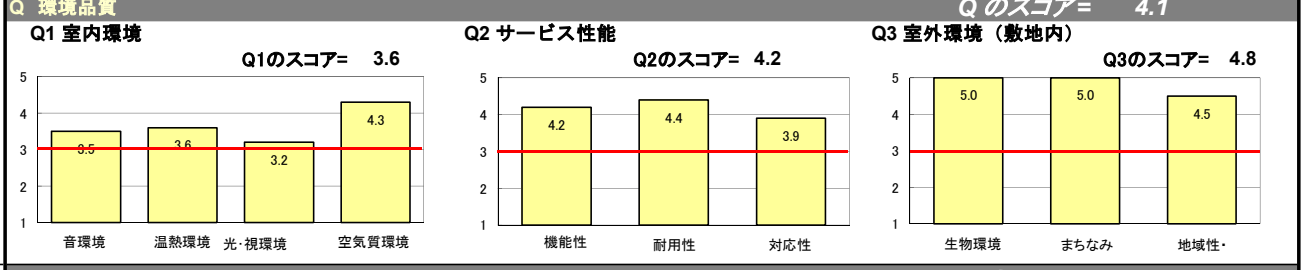
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	TOTO新複合施設棟	階数	地上4F
建設地	福岡県北九州市小倉北区中島2-1-	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	600 人
気候区分	地域区分Ⅲ	年間使用時間	2,600 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年12月 0.0	評価の実施日	2013年9月2日
敷地面積	9,388 m ²	作成者	金子明日美
建築面積	4,682 m ²	確認日	2010年9月10日
延床面積	11,048 m ²	確認者	永廣正邦



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) 2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート) 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 「TOTOフォレスト100=環境の森」 日本の暮らしを見つめて100年、子供達の新しい未来のために、新たにはじまる100年先を見据えて、人と地球のまいにちに潤いをもたらす環境づくりを行う。 建築だけでなく都市を浄化する環境を創造する。		その他 0
Q1 室内環境 ・吹き抜けによる屋光の積極利用 ・床出空調の採用 ・自然換気設備の設置 ・屋上緑化による快適性の向上	Q2 サービス性能 ・リフレッシュスペース+自動販売機の設置 ・免震構造の採用 ・階高さ3.9m確保	Q3 室外環境 (敷地内) ・既存の桜並木を利用した爽やかな外構計画により、地域環境の向上 ・地域のランドマークとなる建物 ・大通り沿いを低層とすることによる圧迫感の低減
LR1 エネルギー ・Low-Eペアガラスの採用や大庇による、PAL値の低減 ・太陽光発電、自然採光及び中間期の自然通風など、自然エネルギーの積極利用 ・設備の高効率化	LR2 資源・マテリアル ・節水器具の採用、第二上水(河川水)、雨水利用による水資源の保護 ・リサイクル資材の採用 ・有害物質を含まない材料の採用	LR3 敷地外環境 ・公共交通機関を利用した交通負荷の抑制 ・廃棄物処理負荷の抑制 ・外部照明計画の配慮

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される